



## 2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 テックファームホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3625 URL <https://www.techfirm-hd.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 永守 秀章  
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 松本 圭太 TEL 03-5365-7885  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年6月期第1四半期の連結業績（2024年7月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	1,512	28.4	146	752.1	165	422.6	103	637.1
2024年6月期第1四半期	1,177	△32.5	17	△88.2	31	△79.7	14	△85.6

(注) 包括利益 2025年6月期第1四半期 84百万円 (—%) 2024年6月期第1四半期 7百万円 (△92.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年6月期第1四半期	円 銭 14.62	円 銭 —
2024年6月期第1四半期	円 銭 1.98	円 銭 —

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年6月期第1四半期	百万円 4,047	百万円 2,317	% 57.2
2024年6月期	百万円 4,065	百万円 2,275	% 56.0

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 2,317百万円 2024年6月期 2,275百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年6月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00
2025年6月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2025年6月期（予想）	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	14.3	400	67.2	390	49.4	230	47.5	32.46

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年6月期1Q	7,515,000株	2024年6月期	7,515,000株
② 期末自己株式数	2025年6月期1Q	428,913株	2024年6月期	428,913株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年6月期1Q	7,086,087株	2024年6月期1Q	7,086,087株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日経平均株価が依然として高水準で推移し、円安基調の継続でインバウンド需要も引き続き好調を維持するなど消費の底堅さが見られました。一方、ウクライナ侵攻の長期化や中東地域の地政学的リスクの高まりなど、外部環境の不確実性が企業収益や国内消費に与える影響が懸念されております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、様々な業種で老朽化した基幹システムの維持コストや不具合が増える「2025年の壁」に備えた刷新需要や、生成AI技術を活用した新たな事業創出などIT投資の拡大が見込まれております。

当社グループは「最先端テクノロジーと創造力で、産業の変革をリードします。」をミッションとして掲げ、先端技術を基盤とした高付加価値ソリューションや業界特化型プラットフォームのサービス提案設計から開発、運用保守まで、ワンストップの支援体制を整え、顧客企業におけるDX推進の共創パートナーとして事業成長に取り組んでおります。また、創業以来、独立系のソフトウェア会社として様々な業種で蓄積したICTの知見とノウハウを活用し、デジタル化により事業の発展が見込める産業にイノベーションを起こすことでITを通じた社会貢献に努め、グループの事業基盤、収益力の強化を目指しております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,512,709千円（前年同四半期比28.4%増）、営業利益は146,606千円（前年同四半期比752.1%増）、経常利益は165,452千円（前年同四半期比422.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は103,616千円（前年同四半期比637.1%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

#### (ICTソリューション事業)

ICTソリューション事業においては、売上高は前年同四半期にみられた一部大型開発案件の売上減の影響が解消され、新たに複数の大型開発案件の受注が進み事業環境は良好に推移しました。また、プロジェクト進捗のモニタリングや品質チェック等、安定化に向けた取り組みの効果により目立った不採算案件もなく、社内エンジニアの稼働率向上と外注費の抑制により増収増益となりました。

先端技術を活用した案件では、XR（クロスリアリティ）分野において、従来のエンターテインメント系のコンテンツ利用を主としたXRデバイスとは異なるビジネスユースを想定したXRグラスの開発を支援し、生成AI分野ではデジタルヒューマンを組み合わせたアバターシステムの開発に取り組んでおります。このシステムはユーザー個人を理解し感情推定ができる、オリジナルのデジタルヒューマンを対人コミュニケーションに利用することで、福祉・医療・教育・エンターテインメントなど多様な分野での導入、幅広いシーンでの活用が見込まれます。

上記により、当第1四半期連結累計期間のICTソリューション事業の売上高は1,374,903千円（前年同四半期比26.3%増）、セグメント利益は281,916千円（前年同四半期比68.0%増）となりました。

#### (クロスボーダー流通プラットフォーム事業)

クロスボーダー流通プラットフォーム事業においては、最新のITと流通技術を組み合わせ、アジアと日本をつなぐ越境流通プラットフォームを展開し、利用顧客数の増加と流通量拡大による安定した収益の確保と成長を目指しております。注力する海外販路開拓支援サービス「コネクタアジア」は顧客企業獲得に向けたプロモーションの進展により計画を上回る水準で推移しております。

当第1四半期連結累計期間は、地方自治体・経済団体や金融機関との連携の深化により地方の潜在顧客企業の開拓をさらに進め、また、シンガポール現地においてはSNSを活用したデジタルプロモーション、店舗でのイベントそしてEC販売と、オンラインオフラインを融合した販売マーケティング活動を展開、より多くの現地消費者とのタッチポイントを創出しデータ収集を進めてまいりました。引き続き、集めたデータを分析・活用し、より現地消費者のニーズを組み入れた商品選定、プロモーションなどの向上に努め、さらなる商流の活発化による流通量の拡大を支援してまいります。

上記により、当第1四半期連結累計期間のクロスボーダー流通プラットフォーム事業の売上高は137,805千円（前年同四半期比55.3%増）、セグメント利益は1,317千円（前年同四半期はセグメント損失13,687千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ37,104千円減少し、3,583,579千円となりました。この主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が139,957千円増加したものの、現金及び預金が179,148千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ19,843千円増加し、459,077千円となりました。この主な要因は、有形固定資産が16,177千円増加したことによるものであります。

繰延資産は、前連結会計年度末に比べ276千円減少し、5,170千円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ17,537千円減少し、4,047,828千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ59,793千円減少し、1,198,512千円となりました。この主な要因は、賞与引当金が67,288千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ865千円増加し、532,162千円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ58,927千円減少し、1,730,675千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ41,390千円増加し、2,317,152千円となりました。この主な要因は、配当金の支払があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が68,186千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の通期連結業績予想につきましては、現時点では2024年8月9日の「2024年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,338,579	2,159,431
受取手形、売掛金及び契約資産	773,217	913,174
有価証券	400,509	400,829
その他	205,620	207,469
貸倒引当金	△97,243	△97,325
流動資産合計	3,620,683	3,583,579
固定資産		
有形固定資産	31,156	47,334
無形固定資産	7,294	6,646
投資その他の資産		
その他	401,464	405,778
貸倒引当金	△682	△682
投資その他の資産合計	400,782	405,096
固定資産合計	439,234	459,077
繰延資産	5,447	5,170
資産合計	4,065,365	4,047,828
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	144,440	175,108
短期借入金	600,000	600,000
未払法人税等	47,499	60,765
賞与引当金	122,047	54,759
製品保証引当金	31,000	32,700
受注損失引当金	14,900	—
その他	298,419	275,180
流動負債合計	1,258,306	1,198,512
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	837	480
資産除去債務	20,510	22,360
その他	9,949	9,322
固定負債合計	531,296	532,162
負債合計	1,789,603	1,730,675
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	1,499,462	1,491,765
利益剰余金	208,659	276,845
自己株式	△434,362	△434,362
株主資本合計	2,273,759	2,334,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,708	1,615
為替換算調整勘定	△9,704	△18,711
その他の包括利益累計額合計	2,003	△17,095
純資産合計	2,275,762	2,317,152
負債純資産合計	4,065,365	4,047,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,177,726	1,512,709
売上原価	826,244	991,536
売上総利益	351,481	521,173
販売費及び一般管理費	334,277	374,566
営業利益	17,204	146,606
営業外収益		
受取利息	251	400
為替差益	15,583	20,277
その他	782	1,536
営業外収益合計	16,616	22,214
営業外費用		
支払利息	1,360	1,217
支払手数料	445	1,810
社債発行費償却	253	276
その他	103	63
営業外費用合計	2,163	3,368
経常利益	31,657	165,452
特別損失		
固定資産除却損	—	272
減損損失	—	5,163
特別損失合計	—	5,435
税金等調整前四半期純利益	31,657	160,017
法人税等	17,600	56,400
四半期純利益	14,057	103,616
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,057	103,616

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	14,057	103,616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,475	△10,092
為替換算調整勘定	△1,442	△9,006
その他の包括利益合計	△6,918	△19,098
四半期包括利益	7,139	84,517
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,139	84,517
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ICTソリューション	クロスボーダー 流通プラットフォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,088,990	88,735	1,177,726	—	1,177,726
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,088,990	88,735	1,177,726	—	1,177,726
セグメント利益又は損失 (△)	167,757	△13,687	154,070	△136,865	17,204

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△136,865千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ICTソリューション	クロスボーダー 流通プラットフォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,374,903	137,805	1,512,709	—	1,512,709
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,374,903	137,805	1,512,709	—	1,512,709
セグメント利益	281,916	1,317	283,234	△136,628	146,606

(注) 1 セグメント利益の調整額△136,628千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。



(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る減価償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	2,255 千円	2,982 千円